

# 一般社団法人富山県労働者福祉事業協会

## 「2023 年度事業報告書」

### I. 法人の概況

#### 1. 設立と事業

##### (1) 富山県労働者福祉事業協会の前身

当法人は、1952 年 11 月に設立された富山県勤労者福祉協会（福協）が起源となっており、この福協は、富山県下主要単組代表者及び生活協同組合代表者が協議を行い、地区労福協の連合体として、「労働者福祉」を専門に行う団体として発足したものです。

福協では、1953 年 6 月に富山県勤労者信用組合（現 北陸労働金庫）を誕生させ、福協が行っていた共済事業および物資斡旋は、1958 年に富山県労働者共済生協（現 こくみん共済 coop 富山推進本部）を、1959 年に労働者消費生協（現 とやま生協）を分離独立させました。

1959 年に、上記 3 団体の創設に伴い、福協の設立の目的が達成されたとして、発展的解散を行い、新しい任務と役割を持つ団体に改組することを決定しました。

##### (2) 労働者福祉事業協会

1959 年 8 月に福協を母体に「富山県労働者福祉事業協会」（任意団体）が創立されました。

1960 年 10 月に労働大臣の許可を得て「社団法人富山県労働者福祉事業協会」（民法第 34 条の公益法人）となりました。

2012 年 4 月 1 日に、公益法人制度改革に伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づき行政庁の認可を受け、「一般社団法人富山県労働者福祉事業協会」となりました。

##### (3) 関係事業団体の設立

当法人並びに関係事業団体、労働界の協力を得て、1965 年以降新たな事業団体を設立しました。

###### ① 富山県勤労者住宅生活協同組合

勤労者に良質で安価な住宅を提供することを目的として、1965 年 7 月に設立しました。

1999 年 4 月に事業目的終了に伴い解散をしました。

###### ② 富山県勤労者信用基金協会

勤労者が労働金庫の融資を受ける時の保証を目的に、1972 年 7 月に設立しました。

###### ③ 株富山北モータープール

富山駅北地域の駐車場として、1996 年 1 月に富山市奥田新町に設立しました。2013 年 10 月に労福協に全事業の事業譲渡を行い、会社解散をしました。

###### ④ 株ボルファートとやま

公益法人の監督指針に基づき、当法人の宴会事業を 1998 年 4 月に分離独立をしました。

2013 年 4 月に労福協に全事業の事業譲渡を行い、会社解散をしました。

###### ⑤ 春日温泉観光開発株

勤労者の保養施設として、1999 年 5 月に富山市大沢野に設立しました。

##### (4) 会館保有等

1963年12月に「富山県労働者福祉会館」（富山市新富町）を建設し、1984年10月に老朽化と手狭により「富山県勤労者総合福祉センター（ゴルフアートとやま）」を現地に建設しました。

2012年策定の「新経営計画」に基づき、当法人並びに関係する事業の経営の効率化を図ることを目的に、2013年4月1日に会館の宴会事業を委託していた㈱ゴルフアートとやまを統合、さらに2013年10月1日に労福協が設立母体となった㈱富山北モータープールの統合を行い、収益事業の一体化を図りました。

## 2. 定款に定める目的

本法人は、協同互助の精神に立脚して、労働者の経済的、社会的地位の向上のための福祉事業活動の企画及び調整実施を図ることを目的とする。

## 3. 定款に定める事業内容

本法人は、目的を達成するため、富山県内において次の事業を行う。

- (1) 労働者の福祉施設の取得、管理維持及び労働者の利用に対する提供
- (2) 労働者の福祉事業活動の企画及び調整に関する事業
- (3) 機関紙の共同発行
- (4) 会員相互の連絡及び業務の改善発展に関する調査研究
- (5) 労働者の生活の改善を図る事業
- (6) 労働者の保健、体育、文化、並びにレクリエーションに関する事業
- (7) 前各号の事業に付帯する事業

## 4. 会員の状況

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

### (1) 会員計

種類	当期末	前期比増減
会員	7名	—
合計	7名	—

### (2) 会員名

No.	会員名	No.	会員名
1	北陸労働金庫	5	(一財) 富山県勤労者信用基金協会
2	こくみん共済coop富山推進本部	6	春日温泉観光開発株式会社
3	富山県労働者共済生活協同組合	7	日本労働組合総連合会富山県連合会
4	とやま生活協同組合		

### (3) 議決権

総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

## 5. 主たる事務所

富山県富山市奥田新町8番1号 ゴルフアートとやま1階

## 6. 役員等に関する事項

役 職	氏 名	所 属 団 体	役 職 名
理 事 長	浜 守 秀 樹	連合富山	会 長
副 理 事 長	辻 政 光	北陸労働金庫	理事長
副 理 事 長	吉 澤 正 博	こくみん共済 coop 富山推進本部 (富山県労働者共済生活協同組合)	本部長 (理事長)
副 理 事 長	大 西 吉 史	連合富山	事務局長
専務理事	藤 井 光 行	専 従	
理 事	小 泉 謙 二	とやま生活協同組合	理事長
理 事	小 西 弘 晃	春日温泉観光開発(株)	取締役副社長
理 事	宮 崎 敏 裕	連合富山	会長代理
理 事	鴨 野 浩 一	連合富山	副会長
理 事	奈 良 靖	連合富山 (こくみん共済 coop 富山推進本部)	副会長 (副本部長)
理 事	海 老 征 二	連合富山	副会長
理 事	奥 田 徹 司	連合富山	副会長
理 事	相 澤 誠	連合富山	副会長
理 事	黒 崎 寿	連合富山	副会長
理 事	篠 島 良 幸	連合富山	副会長
理 事	金 山 剛	連合富山 (春日温泉観光開発(株))	副会長 (代表取締役社長)
理 事	江 上 哲 司	連合富山	副会長
理 事	石 田 康 博	連合富山	副事務局長
理 事	三 浦 功	連合富山	副事務局長
理 事	前 野 寛 子	連合富山	副事務局長
監 事	谷 口 誠 一	北陸労働金庫	営業推進部次長
監 事	山 崎 要 司	こくみん共済 coop 富山推進本部 (富山県労働者共済生活協同組合)	事務局長 (専務理事)
監 事	分 部 隆	一般財団法人富山県勤労者信用基金協会	専務理事

[理事 20 名、監事 3 名]

## 7. 職員に関する事項

	全体	内訳			
		テナント課	貸室課	駐車場課	福祉事業
男子	16名	6名	6名	2名	2名
女子	5名	1名	2名	1名	1名
計	21名	7名	8名	3名	3名

## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

第30回定時総会議案書に記載。

### 2. 重要な契約に関する事項

- (1) 当期に締結した多額の長期借入金  
ありません。
- (2) 重要な契約  
ありません。

### 3. 役員会等に関する事項（理事会、総会）

第30回定時総会議案書に記載。

### 4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

[単位:千円]

事業年度	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
経常収益	676,579	401,947	404,009	450,679	479,959
会費	65,360	62,600	64,700	73,593	68,100
富山県等補助金	7,148	6,580	6,012	5,444	4,876
経常費用	645,684	425,149	362,189	390,094	426,027
事業費	637,033	416,922	353,580	383,257	417,426
管理費	8,651	8,227	8,609	6,837	8,601
当期経常増減額	30,894	△ 23,202	41,819	60,584	53,932
経常外収益		23,508	38,270	0	1,365
経常外費用	28	15,700	4,935	26	5
当期経常外増減額	28	7,808	33,334	△ 26	1,360
当期一般正味財産増減額	30,866	△ 15,393	75,154	60,479	55,211
資産合計	1,400,402	1,341,016	1,306,182	1,300,909	1,311,607
負債合計	665,637	581,725	471,857	406,065	361,552
正味財産合計	734,765	759,290	834,325	894,843	950,055
出資金					
基金	523,600	563,600	563,600	563,600	563,600
一般正味財産合計	211,165	195,690	270,725	331,243	386,455

## 5. 資産の状況

### (1) 不動産

[単位:千円]

	区分	面積 (㎡)	金額	地目・構造等	所在地
テナント課	土地	3,238.08	698,884	宅地	富山市奥田新町 109 他
	建物・建物付 属設備	14,999.00	182,329	鉄筋鉄骨コンクリ ート造 12 階 鉄骨造 7 階	富山市奥田新町 111-1
		237.18			富山市奥田新町 106
	構築物他		82		
	機械装置		0		
計		881,295			
貸室課	建物附属設備		11,108		
	計		11,108		
駐車場課	土地	886.99	75,122	宅地	富山市奥田新町 107 他
	建物	11,984.02	116,919	鉄骨造陸屋根 7 階建	富山市奥田新町 106
	機械装置		1,904		
	計		193,946		
法人	土地	684.90	0	公衆道路・原 野・用悪水路	富山市黒瀬字大屋割 61-11 他計 11 筆
合計			1,086,351		

注 1) 不動産の面積は登記簿上の面積

注 2) 駐車場課建物下の土地 2,252.94 ㎡は富山県労働者共済生活協同組合からの借地

注 3) 法人の土地は、富山県勤労者住宅生活協同組合からの無償譲渡

### (2) 建物の管理状況

#### ① ボルファートビル

[単位:㎡]

階層別	収益部					共用部	自用部	床面積
	貸事務所	貸店舗	うち未契約		貸会議室			
部屋数			(面積)					
1 階		698.50				1,947.82	305.00	2,951.32
2 階					1,116.00	1,186.00	609.76	2,911.76
3 階					1,327.00		140.42	1,797.42
4 階					1,415.00		148.92	1,563.92
5 階	562.09					346.03	114.00	1,022.12
6 階	629.97					280.55		910.52
7 階	571.80		1	(57.9)		318.92		890.72
8 階	309.05				96.00	485.67		890.72
9 階	289.50		1	(57.9)	296.00	305.22		890.72
10 階	420.78		1	(57.9)		301.94	168.00	890.72
11 階						0.00	219.84	219.84
12 階						0.00	59.22	59.22
別館	235.93		2	(235.93)				237.18
合計	3,019.12	698.50	5	409.63	4,250.00	1,186.00	4,885.25	15,236.18

② 富山北モータープール

[単位:㎡]

階層別	収益部						共用部	自用部	床面積
	貸事務所	倉庫	うち未契約		駐車場	(台数)			
			部屋数	(面積)					
1階	235.94		1	(66.61)	1,000.76	40	164.72	63.55	1,464.97
2階		39.11			1,804.93	73	58.03		1,902.07
3階		39.11			1,858.58	77	58.03		1,955.72
4階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
5階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
6階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
7階		39.11			640.89	80	58.03		738.03
R F						33	56.07		56.07
合計	235.94	234.66	1	(66.61)	10,880.90	540	568.97	63.55	11,984.02

6. 資産の状況 (有価証券)

出資先/口数	金額 (千円)	取得目的
北陸労働金庫出資金 7,025 口	7,025	公益・収益事業目的
春日温泉観光開発(株) 200 株	10,000	公益・収益事業目的
合計	17,025	

7. 借入金等の状況

(1) 当座借入金 (借入限度額 2 億円)

借入先/区分	金額 (千円)	資金目的
北陸労働金庫 会館事業	145,000	会館事業運転資金

(2) 証書借入金

借入先/区分	金額 (千円)	資金目的
自治労富山県本部他労働組合 テナント課	127,693	建物借入金の借換
北陸労働金庫 駐車場課	5,374	建物取得資金
合計	133,067	

8. 基金の状況

(1) 拠出者の状況

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合 (%)
北陸労働金庫	235,700,000	41.8
富山労働者共済生活協同組合	160,100,000	28.4
全国労働者共済生活協同組合連合会	82,700,000	14.7
富山県生活協同組合	45,100,000	8.0
日本労働組合総連合会富山県連合会	40,000,000	7.1
合計	563,600,000	100.0

(2) 募集状況

- 1) 会館建設を目的とした基金募集 (当初は出資金で、特例民法法人の 2011 年度に基金制度に変更)

- ① 基金総額 489,050,000 円
- ② 基金受入日 2011年12月8日
- ③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
北陸労働金庫	221,500,000	45.3
富山労働者共済生活協同組合	139,750,000	28.6
全国労働者共済生活協同組合連合会	82,700,000	16.9
とやま生活協同組合	45,100,000	9.2
合 計	489,050,000	100.0

2) 労福協事業の財政基盤の安定化を目的とした基金募集

- ① 基金総額 34,550,000 円
- ② 基金受入日 2013年8月30日
- ③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
北陸労働金庫	14,200,000	41.1
富山労働者共済生活協同組合	20,350,000	58.9
合 計	34,550,000	100.0

3) 労福協事業の財政基盤の安定化を目的とした基金募集

- ① 基金総額 40,000,000 円
- ② 基金受入日 2020年8月31日
- ③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
日本労働組合総連合会富山県連合会	40,000,000	100.0
合 計	40,000,000	100.0

### Ⅲ. 法人の課題

- (1) 労福協収益事業の収支改善に向けては、将来を見据えた強固な財務体質の確立を目的に連合富山構成組織・加盟組織、また事業団体の全面的な理解と協力のもと、経営体質の強化に努めてきました。この間、2007年度5ヶ年計画に基づく、新労福協会費や有利子負債対策の取り組みや2013年度では大改革となる「労福協センター・(株)ボルファートとやま・(株)富山北モータープール3社による事業運営の一体化」を実現し、収益事業の黒字化を推し進めてきました。
- (2) しかし、2020年度初頭の新型コロナウイルス感染症拡大は社会経済活動の停滞を招くなどの影響から、労福協の収益事業においても、年度当初から宴会事業を中心に大幅に売上減少が続くなど、経営状態が著しく悪化し危機的状況に陥りました。事業存続と経営の立て直しを図るべく、同年9月には「単年・中期3ヶ年経営改善計画」を策定し、大幅な宴会事業の縮小(宴会・法会等の直営を取りやめ)、労福協全体の業務見直しなど、抜本的な収益構造の改善に向けた財政基盤の再構築を図りました。また2021年度6月より組織改革としてテナント課・貸室課・駐車場課に組織を改めるなど、新たな業務体系も発足させるなど、徹底的なコスト改革に努めた結果、3期連続の黒字化を達成することができました。
- (3) 一方では、ボルファート会館は1984年の建設からすでに39年が経過し、経年劣化等により、老朽化が進んでおり、過去から修繕、改修、取替等の工事を繰り返し実施してきて

います。今年度は昨年度からの懸案事項であった東側外壁修繕工事を 11 月に実施し、また 1 月に発生した能登半島地震影響により南側外壁に壁面タイルの剥落が発生したため、2 月に緊急に状況調査を実施しました。なお、今後の会館維持管理については 12 月に実施した建物劣化診断・長期整備計画をもとに次年度以降、計画的に改修・修繕を実施していきます。

- (4) 今年度、今後 10 年先を見据えた事業運営のため「収益事業の強化と会館維持」を求めていく必要があり、事業運営の将来ビジョンを明確に示すための、2024 年度～2026 年度に向けての第Ⅱ期・中期経営改善計画を策定し収益見通し、設備修繕費用の計画的予算の策定など「収益事業強化新移管維持」に向けた取り組みを強化します。

#### IV. 株式を保有している場合の概要

- |            |  |
|------------|--|
| ① 名称       | 春日温泉観光開発株式会社   |
| ② 事務所の所在地  | 富山市春日 96 番 1   |
| ③ 資本金      | 100,000,000 円  |
| ④ 事業内容     | 旅館業  |
| ⑤ 役員数及び代表者 | 取締役 8 名、監査役 3 名<br>代表取締役 金山 剛  |
| ⑥ 従業員数     | 60 名   |
| ⑦ 当法人の保有数等 | 200 株 (1.3%)   |
| ⑧ 保有する理由   | 2013 年 10 月 1 日における株富山北モータープールからの全事業譲渡にともなう株式の取得で、当法人の事業目的に合致する労働者福祉の保養施設である |
| ⑨ 当該株式の入手日 | 2013 年 10 月 1 日  |
| ⑩ 当該会社の関係  | 当法人の会員である。   |

#### V. コーポレート・ガバナンス

- (1) 労福協の内容及び内部統制システムの整備

総会・理事会や各種委員会で適切な相互牽制を通して経営状況の監視を行っています。

- ① 総会
- ② 理事会  
連合富山の構成組織の役員や福祉事業団体の役員の 23 名 (理事 20 名、監事 3 名) で構成されています。
- ③ 経営委員会  
労福協理事長・副理事長・労福協専務理事等の 4 名から構成されており、公益・収益事業の労福協事業全般の経営把握・指導を行っています。
- ④ 企画委員会  
当法人の会員常勤役員と労福協専務理事の 7 名で構成されおり、事業計画の具体化、会員間調整、理事会からの諮問事項等について協議を行っています。
- ⑤ 事業運営委員会・あり方検討委員会  
労福協専務理事・ゴルフアート事業部支配人等の 9 名で構成されており、収益事業運営の把握と推進を図ることを目的とし、執行状況を把握し、円滑適正に運営されるために必要な事項を協議し指導を行っています。

- (2) 顧問税理士法人

あおぞら経営税理士法人 富山市東町 1-6-6

代表社員 松村 篤樹

毎月、福祉・収益の全事業の会計業務の監査を受けています。

顧問税理士法人と労福協の間には、特別な利害関係はありません。